

経済再生を、 実行へ

謹啓 皆様には、日頃より温かいご指導、ご鞭撻を賜り、また、党勢拡大や各級選挙に、力強いご支援、ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、私は、この度の自民党総裁選に立候補することを決意致しました。「目標を掲げ、チームを束ね、結果を出す」。これが、私が目指す新政権の姿です。

思い切った人材抜擢による「改革マインド」と「課題解決力」のあるベストチームを作り、その総合力で結果にコミットします。同時に、「実行力のある安定した政権」で内外の様々な事態、変化にしっかり対応します。

党員や国民の皆様の信頼を回復していくためには、まず、自民党自らが変わっていかなければなりません。「全く新しい自民党」を作っていく覚悟を示し、政治改革、党改革を断行します。

これまで、政府や党で様々な役職を経験してきました。経済産業大臣としてプラス成長への転換とデフレからの脱却に取り組み、担当大臣として、幼児教育の無償化を実現。トランプ政権下では、厳しい日米貿易交渉にベストチームで臨み、妥結させました。「幼児教育からトランプ大統領まで」、様々な経験を、これからより厳しさが予想されるわが国の政権運営に活かします。

日本経済再生や地方の活力アップの具体的プランもあります。必ず結果を出します。結果にコミットする以上、**3年以内に結果が出なければ、トップが責任を取ります。**



日本が直面する内外の困難な課題を直視し、厳しい政権運営も覚悟の上で、それでも高い目標を掲げ、チームを束ね、その実行力でしっかり結果を出していきます。なぜなら、日本にはまだまだ十分発揮されていない大きな底力があると信じているからです。そして、その日本の力は世界からも期待されています。

国民一人ひとり、全国の各地方が本来持っている能力や魅力を存分に発揮できる社会。誰もが自信と誇りを持ち、将来への希望に溢れ、安心して人生100年時代を楽しめる、そんな新しい日本を、皆様のお力を借りて、作っていきたく思います。

その先頭に立って、全てを懸けて、働いていく覚悟です。皆様のより一層のご指導とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

謹白

令和6年9月 吉日

自民党衆議院議員 **茂木敏充**

茂木敏充

略歴

- 1955 栃木県足利市に生まれる
- 1978 東京大学卒業、丸紅株式会社入社
- 1983 米ハーバード大学大学院修了
- 1983 マッキンゼー社入社
- 1993 衆議院議員初当選(以来10期連続当選)
- 2011 党政務調査会長
- 2012 経済産業大臣
 - 「経済政策の司令塔」としてアベノミクス政策の中心となり、デフレ脱却に取り組む
 - 「福島の復興なくして日本の復興なし」の思いで、福島第一原発の処理も担当
- 2014 党選挙対策委員長
 - 衆院選、参院選などで勝利を重ねる
- 2017 経済再生担当大臣
 - 「人づくり革命」担当として「幼児教育の無償化」を実現
 - トランプ大統領との日米貿易交渉。「タフネゴシエーター」と呼ばれる
- 2019 外務大臣
 - 「包容力」と「力強さ」を兼ね備えた日本外交を推進し、55カ国を歴訪
- 2021 党幹事長
 - 党の「こども・若者」輝く未来創造本部長として児童手当の所得制限の撤廃などの対策を打ち出し、「こども政策の旗振り役」に

実行プラン1

何をする?

2%台半ばの経済成長と実質賃金プラスへ。税収アップ、税外収入(外為特会など)の増加などにより、十分な財源を確保。防衛増税、子育て支援金の保険料追加負担、それぞれ1兆円は停止(3年以内に財源確保できなければ、トップが責任を取る)。

具体的にどうする

- まず、物価高などに対応する総合経済対策の早期策定、実行で景気回復の流れをより確かに。
- 中小企業の生産性向上のための実効性の高い支援策。
- 人手不足の解消と活躍の場づくりに向けたハローワーク改革。
- 成長分野であるシェアリングエコノミー、スタートアップへの資金・人材の投入。

実行プラン4

時代の変化に対応した省庁再編。人材活躍など、未来をつくる組織を

何をする?

- エネルギー・環境省(GX省)への再編。
- ハローワークを独立し、「職業選択支援庁」に。
- 全ての省庁に、女性活躍推進に向けた「制度改革タスクフォース」を設置。
- 中小企業の活力向上に向け、政府に「事業承継・事業再編本部」を創設。

実行プラン2

何をする?

戦略分野への投資拡大で「日本列島の再改造」、新たな時代の「東京一極集中是正」。経済・食料・エネルギーの3つの安全保障を確立、強化します。

具体的にどうする

- 半導体の製造拠点やデータセンターを地方に立地し、雇用を創出。
- 「知の一極集中の是正」。地方大学などの特色を最大化し、日本全国、世界の若者が集まる拠点に。
- 輸出や付加価値の高い農林水産業を生み出し、中山間地域への手厚い支援により、地域の活力アップ。
- 脱炭素、地域活性化の両面からグリーン・トランスフォーメーションを加速。

実行プラン5

力強い外交と安全保障の推進により、世界で存在感の高い日本へ

何をする?

- 日米関係をマネージし、国際社会の平和と安定を支える「エッセンシャル・パートナー」へ。
- グローバル・サウス(新興国、途上国)に対しては、包容力と力強さを持って対応。
- 経済・通商分野での共通枠組みの拡大/多面的安全保障体制の構築、生成AIに関する共通ルール策定など。

実行プラン3

何をする?

デジタル化で個々人の立場に応じた負担と給付へ。“余力のある人には払ってもらい、困難な人への負担軽減と支援拡大”。あらゆる世代が活躍し、生きがいを実感できる社会へ。

具体的にどうする

- 社会保障分野にデジタルを完全導入。“標準世帯”から“個々人のデータ”に基づく、負担と給付へ(標準報酬月額の上限も見直し)。
- 在職老齢年金制度の見直しによる中高年層の労働意欲向上。
- 給付手段の簡素化(スマホ搭載のマイナンバーカードにキャッシュレス決済機能を付与し、ここへの給付を可能に)。

実行プラン6

「希望と誇りを持てる国づくり」。憲法改正、党と国会の改革

何をする?

- 3年以内の憲法改正の実現。
- 政治改革(政策活動費の廃止など)。
- 国会改革を通じて、本格的な政策議論とスピーディな政策決定ができる政治へ。
- 党員や地方組織の意向が、より反映される総裁選への見直し。

茂木敏充
公式Webサイトはこちら